

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度 坂下高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月24日(月) 13:30～15:30
- 3 開催場所 坂下高等学校 リハビリ実習室
開催にあたり、委員による授業参観を実施
- 4 参加者

会長	小幡 隆徳	坂下まちづくり協議会副会長
副会長	吉村 俊廣	やさか観光協会会長
委員	氷室 茂	本校活性化協議会会長(欠席)
	村田 純一	坂下公民館長
	尾石 光正	坂下中学校長
	竹入 康治	坂下小学校長
	山内 尚子	同窓会会長
	嶋倉 陽子	中津川市社会福祉協議会地域福祉課長(欠席)
	桂川 容子	Charm Mates 会員
	伊藤 彩子	保護者代表
オブザーバー	森 益基	岐阜県議会議員(欠席)
	成瀬 博明	中津川商工会議所 専務理事(欠席)
	岩久 義和	中津川市教育長(欠席)
	伊藤 恵之	中津川市定住推進部長
	廣瀬 竜也	坂下総合事務所長
学校職員	中村 浩一	校長
	田並 千穂	教頭
	古田 和幸	事務長
	板津 裕也	教務主任
	中田 和寿	生徒指導部長
	三輪 祐太	進路指導部長
	林 尚志	地域連携担当

5 会議の概要（協議事項）

（1）学校評価アンケート結果、咲明日高校マルシェ、進路決定状況についての説明

意見1：「本校に入学できてよかった」が9割はよい評価である。否定的評価の原因分析はできているか。

⇒コロナ禍で中学校での説明会ができなくなっており、本校の学科について十分理解できずに選択した生徒もいるかもしれない。また、中学から引き続き人間関係の問題を抱えている生徒も若干名いるようである。

意見2：通学の交通手段の不便さを感じている割合が多いが、全国的にみても少子化で多くの学校がこれから抱える問題である。他校の様子はどうか。

⇒市から交通費の援助はある。「不便さ」にはバスや電車の本数が少ないことが含まれており、生徒の放課後の時間的制約に繋がっている。

（2）学校運営全般に関する意見交換

意見1：地域探究科の授業で、企業への提案を堂々と行い、質疑応答でもしっかりと受け答えしている姿がすばらしかった。

意見2：授業でのICT環境整備が進んでいることに驚いた。企業の方が第三者として取り組みを評価していることは、生徒にとってもモチベーションに繋がる。また、福祉科の授業では生徒のコミュニケーション能力の高さを感じた。夏休みに「小学生向けの福祉体験講座」を行った際も、とても上手に小学生に声掛けをしていた。施設もすばらしいのでその良さをPRしていけるとよい。

意見3：地域探究科の授業で、企業の方から多面的な意見をもらうことにより、現実社会に学びを活かしていけるような興味深い授業だった。福祉科のハンドマッサージは話をしている心が温くなる時間だったので、マルシェでもこのような幸せな時間を提供しながら地域の方々と繋がってほしい。

意見4：学校評価アンケートで生徒たちの満足度が高いことがわかる。保護者の教員に対する評価も高く、このような状況が少しずつ外部に伝わっていくとよい。また、テレビでの活動放映による地域への反響は大きい。マルシェの終了後、生徒がどのように変化したか、その効果を教えてほしい。

意見5：授業参観で、生徒たちが生き生きとしていた様子が見られてうれしかった。アンケートの評価が高いのに、福祉科の志望者数が少ないのは、学校のせいではなく、「福祉」のイメージのせいではないか。福祉従事者の待遇をよくするなど、社会が変わらなければいけない部分がある。

意見6：地域探究科の授業では、堂々と大人と対話し、自分たちの意見も言えていた。また、福祉科生徒も、初対面の大人に対してずっと会話を続けられるコミュニケーション能力の高さはすばらしい。福祉の現場で必要な力である。自分の息子は先生のことをとても信頼している。本校でそのような先生と出会えたことを感謝している。

意見7：どの授業でも、「相手がいることの大切さ」を感じた。相手の表情や雰囲気を感じ取って対応することが次へのステップとなる。学校全体が昨年より前向きに生き生きしている。マルシェでは高校生を応援したいという出店者さんが多い。ぜひマルシェを成功させて、地域の方々や小中学生が本校に魅力を感じてくれる場にしてほしい。

意見 8 : 授業の中で、生徒たちが主体的に学ぶ姿が印象的であった。生徒の様子がとても頼もしく、スクールポリシーに沿って教育活動が進められていることが感じられた。このような姿を中学生に見てもらえるとよい。マルシェは地域を元気にする力強い行事である。

(3) オブザーバーからの提言

意見 1 : 学校評価アンケートから、生徒、保護者共に評価が高いことがわかる。通学における交通の不便さがあげられていたが、中津川市としては令和 4 年度 4 月から高校生の通学交通費支援の算定方法を見直し、より近距離の生徒にも支援が行き渡るようにした。引き続き改善に向けて取り組んでいきたい。進路状況に関して、求人倍率が高いことも評価できる。

意見 2 : どのように志望者を増やしていくかが課題である。情報発信の方法は様々なので、効果的な方法は何なのか、全体的なアンケートだけでなく、中学生や高校生に直接意見を聞きながら深掘りするとよい。

6 会議のまとめ

- (1) 授業参観により、主体的に生き生きと活動している生徒の様子が評価された。また、ICT を効果的に利用した授業を進めているという評価を得た。
- (2) 学校評価アンケートの結果から、生徒、保護者共に満足度が高いという意見が得られた。否定的な回答についての分析と対策を引き続き行う。
- (3) マルシェや地域探究等の学習活動を通し地域連携を進めるとともに、本校の魅力を効果的に発信していくことで、志願者数の増加に繋げていけるとよい。